



2015年11月19日

2016年3月期

第2四半期

決算説明会資料

株式会社アイネット

[東証1部:9600]



1. はじめに(会社概要)

2. 2016年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

次第	プレゼンター	所要時間
はじめに	取締役 本社統括代理 内田 直克	約15分
2016年3月期2Q 業績概要		
当社グループの 事業方針・強み	代表取締役社長 梶本 繁昌	約20分
業界環境 当社グループの概況		
中期計画・通期業績予想		
質疑応答		

- 商号 株式会社アイネット
- 設立 1971年4月22日
- 本社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 創業者 取締役会長 池田 典義
- 代表者 代表取締役社長 梶本 繁昌
- 子会社
株式会社ISTソフトウェア
株式会社アイネット・データサービス
- 社員数 1,318名(連結)
876名(単独)
- 事業所／支店／データセンター
東京事業所 札幌支店、仙台支店、中部支店
大阪支店、中四国支店、福岡支店
第1データセンター、第2データセンター





1. はじめに(会社概要)

2. 2016年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

(単位:百万円・%)

	2015年3月期-2Q		2016年3月期-2Q		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	11,141	100.0	11,975	100.0	+834
売上原価	8,506	76.4	9,292	77.6	+785
売上総利益	2,634	23.6	2,683	22.4	+48
販管費	1,953	17.5	1,866	15.6	△86
営業利益	681	6.1	816	6.8	+135
経常利益	658	5.9	775	6.5	+117
親会社株主に帰属する 四半期純利益	395	3.5	473	4.0	+78

サービス区分別販売実績・営業利益(連結)

(単位:百万円)

	2015年3月期-2Q		2016年3月期-2Q		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
					金額	金額
情報処理サービス	4,473	318	4,738	416	① +265	+97
(営業利益率)	—	7.1%		8.8%	—	+1.7P
システム開発サービス	6,362	346	6,847	379	② +484	+33
(営業利益率)	—	5.4%		5.5%	—	+0.1P
システム機器販売	305	16	389	19	+84	+3
(営業利益率)	—	5.3%		5.1%	—	△0.2P
合計	11,141	681	11,975	816	+834	+135
(営業利益率)	—	6.1%		6.8%	—	+0.7P

(主な要因)

- ①大型契約の本格稼働により増収・増益
- ②金融業・流通業向けの受注増加で、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

(単位:百万円・%)

	2015年3月末		2015年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	8,735	33.6	8,962	34.5	① +227
固定資産	17,227	66.4	17,017	65.5	△209
資産合計	25,962	100.0	25,980	100.0	+17
流動負債	6,323	24.4	5,718	22.0	△605
固定負債	7,491	28.9	8,271	31.8	+779
負債合計	13,815	53.2	13,989	53.8	② +174
純資産	12,147	46.8	11,990	46.2	③ △156
負債・純資産合計	25,962	100.0	25,980	100.0	+17

(主な要因)

- ① 棚卸資産の増548百万円、売掛金の減353百万円
- ② 有利子負債の増504百万円
- ③ 自己株式取得による減360百万円、利益剰余金の増252百万円

(単位:百万円)

	2015年3月期-2Q	2016年3月期-2Q	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,524	① 435	△1,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172	△222	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,385	② △197	+1,188
現金及び現金同等物の増減額	△32	+16	+49
現金及び現金同等物の期首残高	2,183	2,533	+350
現金及び現金同等物の期末残高	2,150	2,549	+399

(主な要因)

①獲得……利益および減価償却による内部留保1,438百万円

使用……たな卸資産の増548百万円、未払消費税の減460百万円

②自己株式の取得(減少)360百万円、配当金支払い221百万円、有利子負債の増加504百万円、



1. はじめに(会社概要)

2. 2016年月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

■事業方針

●エンドユーザー志向

- ・お客様に選ばれ信頼関係を構築
- ・多面的な取引の実現

●ストックビジネスの拡大

- ・継続的な売上／利益の確保
- ・一人当たり利益の増加

■当社グループの強み

安全なデータセンターでシステム構築から運用、さらにはBPO業務までお客様に最適なITサービスを**ワンストップ**で提供

システム開発サービス

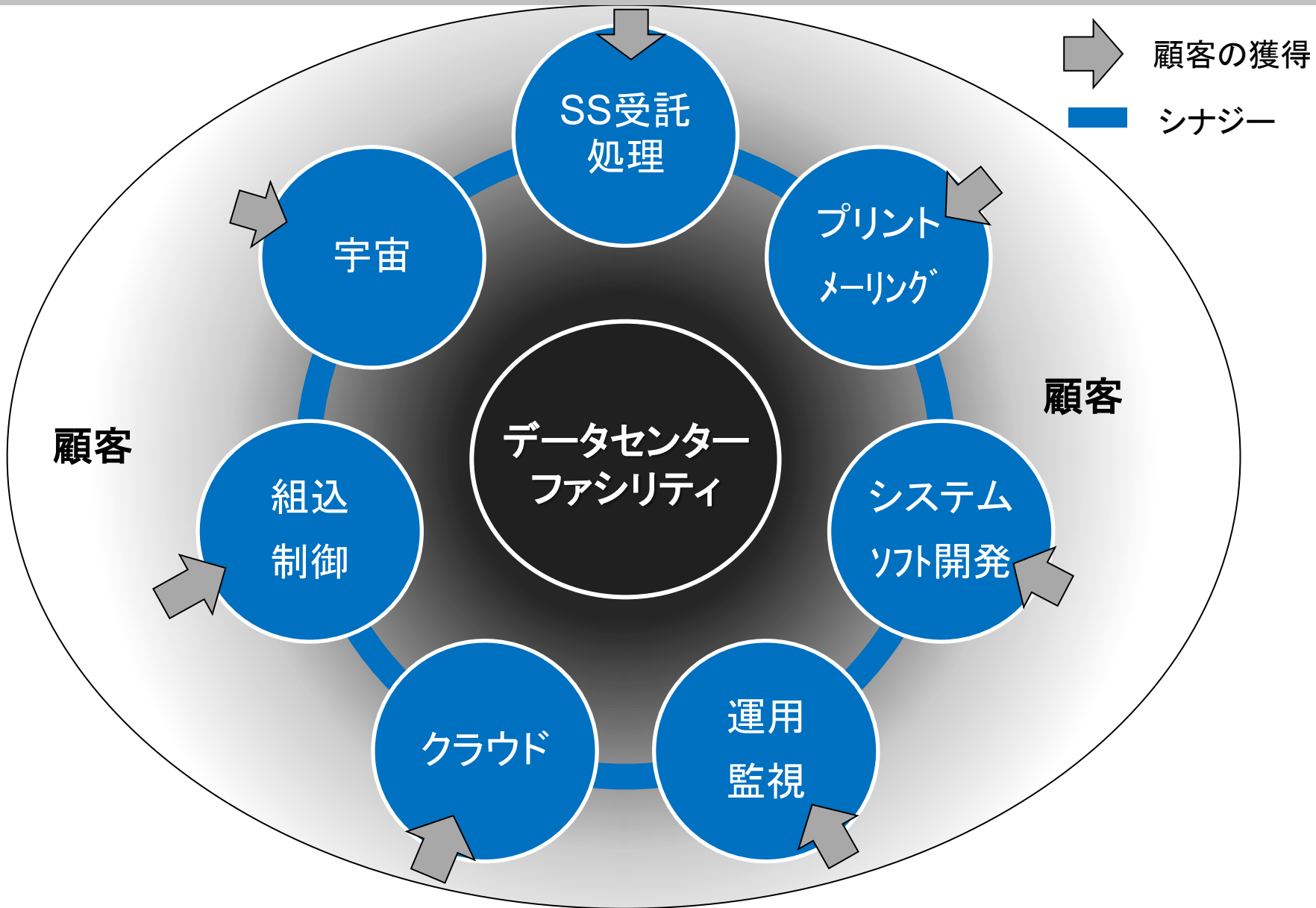
コンサル
要件定義

システム
設計構築

情報処理サービス

受託計算
データセンター
クラウドサービス

プリント
封入封緘





1. はじめに(会社概要)

2. 2016年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

■国内IT市場

●ITサービス市場

2019年に5兆7474億円へ成長
クラウド／ビッグデータ／モバイル
が成長をけん引

●2015年度金融機関のIT投資 前年度比26.5%増(日銀短観)

大型案件は当面ピーク状態
日本郵政、みずほ銀行
三菱UFJニコス等
需給バランスの崩れ継続

ITサービス2.7%拡大
15年民間予測
14~19年の
平均成長率は1.9%





10/14 日本経済新聞より

金融機関計	-6.1	—	26.5	6.4
銀行業	-4.5	—	22.0	1.7
信用金庫・系統金融機関等	16.7	—	22.6	-6.1
金融商品取引業	9.7	—	28.0	18.2
保険業	-25.9	—	43.2	19.8
貸金業等	8.0	—	21.8	1.6
(参考) 全産業+金融機関	0.1	—	7.9	2.7
うち 非製造業+金融機関	-1.4	—	9.2	3.1

10/1発表 日銀短観より

■ITトレンド

⇒景気回復継続で、システム投資は高水準で推移
IT投資の目的は、コスト削減や業務継続の「守りのIT」から
成長や変革のため「攻めのIT」への変化が進む

石油業 販売店含む		<ul style="list-style-type: none">・SS数減少傾向の中、当社はシェア・処理SS数ともに拡大・水素ステーション・業界再編でシステムの対応
製造業 制御・宇宙		<ul style="list-style-type: none">・業績回復でシステム投資堅調・生産の国内回帰で新規システム投資も期待・医療／防衛分野は堅調を維持・国際宇宙ステーションの運用の延長(2024年まで)決定
金融業、他		<ul style="list-style-type: none">・金融機関のシステム受注大幅増・銀行向けABC原価計算システムに注目高まる・攻めのITへの対応
データセンター クラウド サービス		<ul style="list-style-type: none">・足元の受注堅調(前年比2割増加)・DC+プリントで差別化、複数自治体へ展開中・クラウドサービス強化次世代型Next Generation EASY Cloud®提供へ



1. はじめに(会社概要)

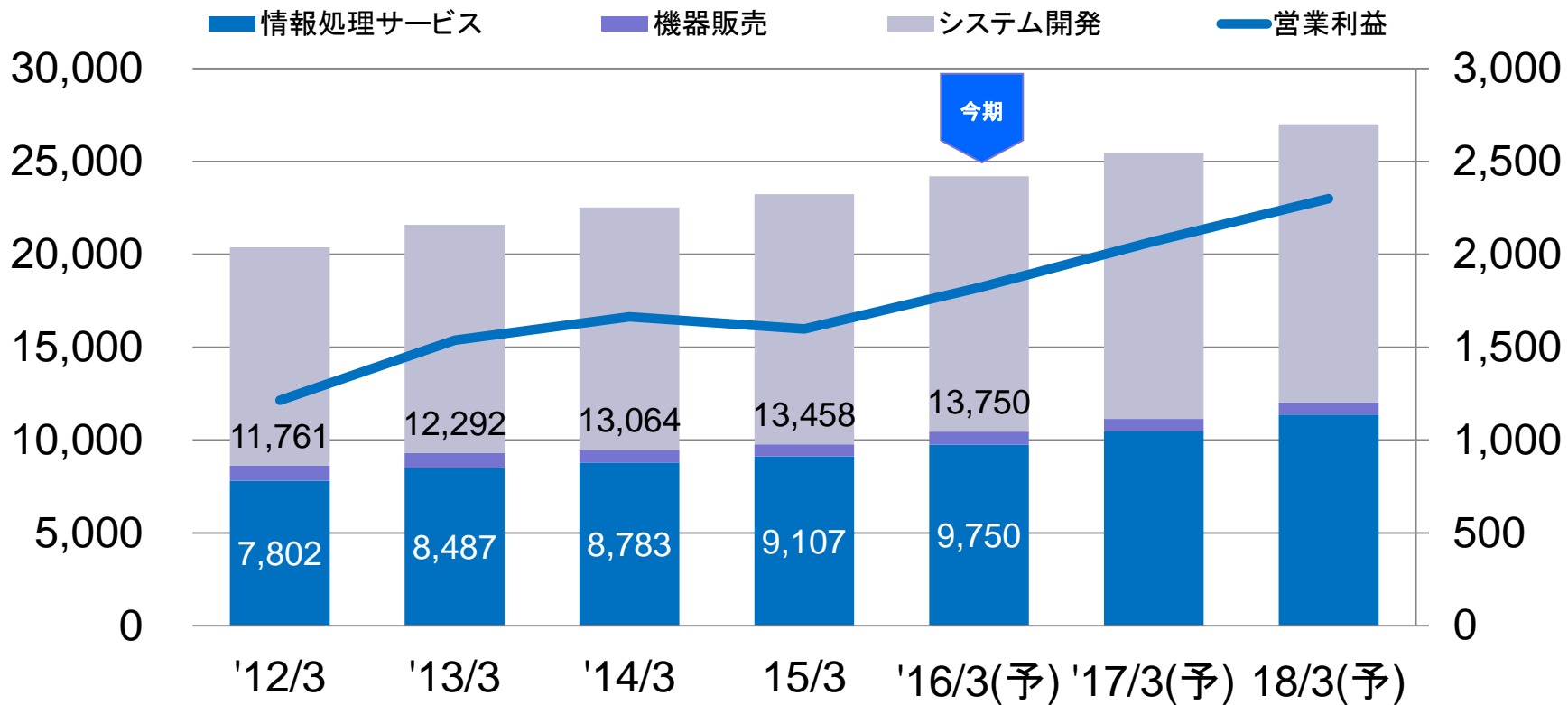
2. 2015年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

(単位:百万円)



売上高	20,374	21,588	22,528	23,230	24,200		
営業利益	1,214	1,538	1,664	1,598	1,820		
ROE	7.6%	10.7%	9.5%	8.8%	8.6%		

（単位：百万円・％）

	2015年3月期		2016年3月期		前期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	23,229	100.0	24,200	100.0	+971
売上原価	17,796	76.6	18,370	75.5	+574
売上総利益	5,433	23.4	5,830	24.5	+396
販管費	3,835	16.5	4,010	16.6	+175
営業利益	1,598	6.9	1,820	7.5	+222
経常利益	1,546	6.7	1,700	7.0	+154
親会社株主に帰属する 当期純利益	982	4.2	1,050	4.3	+68
1株当たり利益(円)	66.6	—	72.6	—	+6.0

inet サービス区分別 売上・営業利益予想(連結)

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報処理サービス	9,107	734	9,750	874	① +643	+140
(営業利益率)		8.1%	—	9.0%		+0.9P
システム開発サービス	13,457	826	13,750	903	② +292	+77
(営業利益率)		6.1%	—	6.6%		+0.5P
システム機器販売	664	37	700	43	+35	+6
(営業利益率)		5.6%	—	6.2%		+0.6P
合計	23,229	1,598	24,200	1,820	+971	+222
(営業利益率)		6.9%	—	7.5%	—	+0.6P

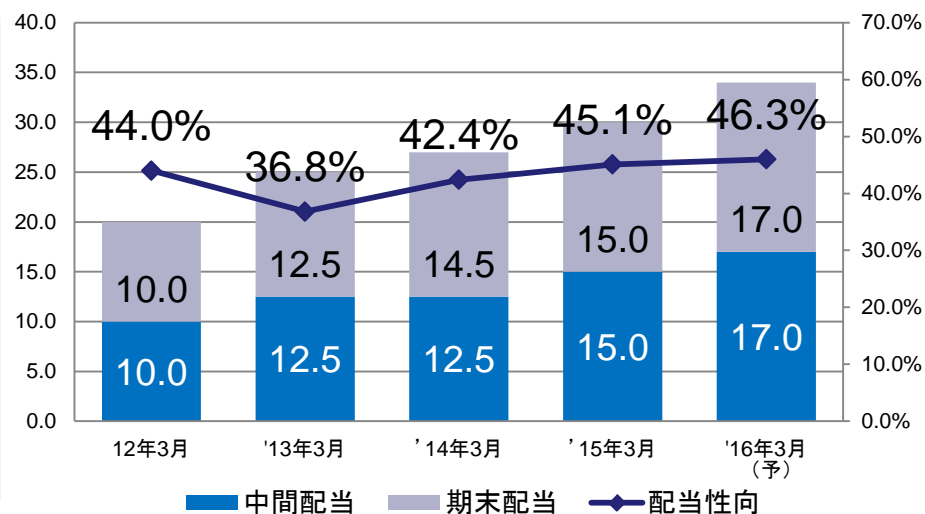
①引き合い状況好調に加え前期受注の大型自治体案件などの本格稼働により、増収増益

②システム需要は2015年も継続、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

《配当方針》

安定配当を継続実施



1株当たり年間配当金の計画(4期連続増配予定)

期初予想**32.0円**+45周年記念配当**2.0円**(9/23発表)

2015年3月期
30.0円
中間(15.0円)
期末(15.0円)



2016年3月期(予定)
34.0円(4円増配)
中間(17.0円)
期末(17.0円)

本日はご多用中にもかかわらず
説明会にお越しいただき誠に
ありがとうございました。



当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットあるいは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

経営企画・IR部 伊藤、杉岡

TEL 045-682-0808

E-Mail contact_ir@inet.co.jp

URL <http://www.inet.co.jp>